

福島県PTA連合会会報  
第37号\_H06.02.26



福島県PTA連合会 53-5 内館 5982  
市黒岩字田部屋 45-5 982  
市黒岩字田部屋 45-5 982  
電話 (0245) 45-5 982  
発行人 芳賀 裕  
印刷 泉孔版印刷所  
電話 57-1071



県連P会長 芳賀 裕

### この一年を省みて

会長職につきまして九  
か月がたちました。

この間、三役、理事の  
方々をはじめ会員の皆様  
の温かいご理解とご協力  
をいただきながら、年間  
計画に基づく事業の遂行  
ができましたことに心よ  
り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成五年度の県  
連Pの行ってきた活動や  
果してきた役割を振り返っ  
てみたいと思います。

まず、昨年実施された  
学校週五日制につき、  
文部省から脱偏差値を目  
指した「業者テストの廃  
止」が打ち出されました。  
この問題については、県

内各地区で事情が異なる  
こともあり、役員間の情  
報交換をし対応は各都市  
連Pにお願いをいたしま  
した。

次に、「県立高校の入試  
改革」が県教委より明ら  
かにされました。

これは、新しい学力観  
の捉え方や理解の仕方な  
どによって大いに議論の  
ある問題でもあり、十月  
の理事会の際に県教委か  
ら「改革」のご説明を受  
けた上で質疑応答をさせ  
て頂きました。

さらに、十一月には、  
県内十九地区の小中PT  
Aの代表にお集まり頂き  
小学校部会は「学校週五

日後、県連Pとしては、  
各地区に情報を送るだけ  
でなく、情報や意見交換  
の場を定期的に設けると  
ともに、意見の集約をし、  
関係各方面に会員の声が  
届くように対応しなけれ  
ばならないものと切実に  
思います。県連P、都市  
連Pが変われば単Pも会  
員が率直に意見交換がで  
き、建設的で魅力ある活  
動に取り組むようなPT  
Aに変わっていくのでは  
ないでしょうか。

### 輝く文部大臣・日本PTA 会長表彰受賞

《平成五年度》

平成五年度優良PTA  
および功労者表彰式が、  
十一月十八日(木) ホテル  
ニューオータニ鶴の間で  
挙行された日本PTA創  
立四十五周年記念式典で  
行われた。

学校父母と教師の会

および功労者表彰式が、  
十一月十八日(木) ホテル  
ニューオータニ鶴の間で  
挙行された日本PTA創  
立四十五周年記念式典で  
行われた。

相馬郡小高町立福浦  
小学校父母と教師の会

○個人

○芳賀 裕  
(県P会長)

○大河内 守夫  
(県P副会長)

○津野 英行  
(県P副会長)

○宮森 泰弘  
(県P副会長)

○村越 寿夫  
(県P副会長)

○二瓶 由美子  
(県P副会長)

○箱崎 恵子  
(県P副会長)

○小野 輝子  
(県P副会長)

○戸田 英一  
(県P副会長)

○初瀬 川昂  
(県P副会長)

○渡邊 宗孝  
(県P副会長)

○佐々木 十志春  
(県P副会長)

○小松 榮  
(県P副会長)

○郡山市立富田中学校  
父母と教師の会

○齋藤 精二  
(県P副会長)

“県P小中学校別  
懇談会開かれる”  
地区PTA代表による  
小中別懇談会

学校教育の大きな転換期に  
おいてPTA活動の益々の重  
要性を認識し、また活動の活  
性を図るために各地区のP  
TA活動について意見の交換  
が必要であるとの理事会での  
提案により、十一月二十四日  
小中別懇談会が、青少年会報  
で開かれた。

参加者は、地区の小中PT  
A代表、そして校長会代表と  
して県校小中校長会週五日制  
関係集計代表福島二中校長車  
田嘉宏先生、県中学校長会進路  
対策部長清水中学校長阿部重信  
先生であった。

最初に全体会が開かれ県P  
芳賀会長が本会の趣旨説明・  
代表校長紹介を行った。その  
後小学校部会は「学校週五日  
制に関する地域の現状・PT  
Aの対応」中学校部は「進路  
対策に関する地域の現状・P  
TAの対応」について話し合っ  
た。小中部会とも地区代表か  
ら具体的な課題が提示され、  
今後のPTA活動について活  
発な意見が交換され有意義な  
懇談会であった。

# 《南》 緑の少年団育成と 学校林作業のPTA活動

霊山町立石田小学校PTA



(間伐奉仕作業に精を出す会員)

霊山町は古い歴史と美しい自然に恵まれた人情豊かな町です。福島県北東部に位置し、東は宮城県の丸森町および相馬市、相馬郡飯館村に、南は月舘町、西は福島市と保原町に、北は梁川町にそれぞれ隣接しています。福島市から車で三〇分距離にして約二〇km、国道一一五線沿いにあり、山々に囲まれ、緑多い環境にめぐまれています。また、南北朝(一三三七

年)時代、北畠家公が出陣した歴史と霊山太鼓で名高い町です。霊山町南東部を学区としているのが石田小学校です。学校の沿革は古く明治七年石田善光寺に開設され、平成六年で創立一〇〇年を迎えます。校舎も平成五年二月に完成し、屋内運動場も平成六年二月に完成予定です。すばらしい教育環境に整備され一三四名の児童達も勉学、運動と毎日励んでいます。前校舎は昭和三十五年完成し、平成五年四月に取り壊し、三十三年に渡り多くの児童達が巣立ってまいりました。旧校舎を新築するのに、昔は地元負担金が多く、その負担金は石田地区林を伐採売却して建てられました。その好意を児童達に培ってもらおうと植林をし学校林が始まり、現在の緑の少年団発足に至りました。これらの山林の面積五・八haあり緑

の少年団や保護者が間伐をし、整備にあたっており、PTAの数多い活動の中で親から子へと受継がれて来た、この学校林はやはり石田小学校PTAの伝統的なものです。

間伐奉仕作業は年一回十一月下旬の日曜日に行なっており、昨年

もみぞれの降る中で作業でしたが保護者のみなさんの努力で一年分の面積を終了することができました。

若い父親や母親達のなれない手つきでナタやノコを使っている姿にうれしさを感じました。

その成果が平成五年度県連P・東北連Pより優良団体として表彰され、PTAの誇りとなっております。

今後とも児童の健全育成を図るPTA活動を学校・保護者・地域住民の御協力で推進していきたいと思っております。

## 特色あるPTA活動

### 《郡山》

# 開かれたPTA

## 活動をめざして

郡山市桃見台小学校PTA

本校は、昭和四年四月一日創立。現在の児童数五五六名、PTA会員数四三五名(内職員三二名)、会員一人当たり年会費三一〇〇円で運営にあたっている。

桃見台付近は、その昔虎丸長者の「桃源郷」で桃の花が咲き誇ったところから「桃畑」と呼ばれていたようだ。大正八年の耕地整理の時、隣り合っていた「水見台(現在桜木)」の一部と合併して「桃見台」という地名が生まれた。創立当時の本校付近は、二、三軒の農家が点在するのみで、閑静で緑豊かな田園地帯であったようだが、



(親子いも煮会風景(四年学年会))

委員会が主催している活動の中に「いも煮会」があり、これは他県から転入して来た会員には珍しい活動のようで、反響は大なるものがある。日頃顔を合わせる機会の少ない会員の多くが一同に会し、親睦を深めるのに大いに役立っていると自覚している。

また、桃見台小学校父母と教師の会としては、平成四年度郡山市PTA連合会の事務局校としての活躍とこれまでの様々なPTA活動が評価され福島県PTA連合会及び東北PTA連絡協議会より表彰を受けた。日頃の地道な活動が評価につながり、益々の励みとなっている。

今後ともこれに驕ることなく、豊かな心を持ち国際社会にたくましく生きる人間の育成をめざし学校・家庭・地域社会との連携、協力体制を強め総力を結集して、魅力あるPTAづくりを進めていきたいと思います。

みで、閑静で緑豊かな田園地帯であったようだが、今では、住宅・病院・大手スーパー等が立ち並び、都市化の波が押し寄せて

# 《岩瀬》 PTA会活動の 原点に立ちかえって

須賀川市立第三中学校PTA

須賀川は「花と緑の臨空都市」です、その東部市街地には東洋一といわれる牡丹園があり、多くの観光客が訪れます。本校はこの牡丹園に隣接し、東には宇津峰を、西には遠く那須連峰を望むところに位置します。



(活発な運営の交換があった教育懇談会)

当然のことですが、私たちのPTAは、学校に子どもを通わせる親と教師が、自らの課題を究めながら、自己教育力を育てる活動を中心としています。健康育成・補導活動にしろ、対症療法的な取り組みではなく、常に今日的な課題を敏速に取り上げ、親と教師が同じテーマにつき、協議し合うように心掛けています。この具体的な事例としては「教育懇談会」が挙げられます。これは文教委員会が主管し、①「頭髪」について ②「学校五日制」について ③「進路」(中学生の進路)について ④「進路」(偏差値など)について ⑤「子どもの家庭生活」について等の分科会で協議を深めます。一方「教育講演会」は、学校から離れて市の文化センターを会場とし、PTA会員生徒共々聴講し、話題を共有するよう図ります。最近の講師には、作家の大石邦子先生

や、合唱で連続全国制覇の栄光に輝く安積女子高校の菅野正美先生方です。ちなみに、菅野先生は本校のご卒業でおられます。これらの活動は

本年度の県教委編・PTA指導者研修資料「みんなのPTA」に掲載されました。

平成三・四年度には、岩瀬地区PTA連合会の会長と事務局を担当しました。この活動のメインも会員の研修です。事務局校として、本校単Pの協力体制を整え、テーマの設定から、事務の一切に至るまで「親」の手で大会を運営することに全力を尽くしました。これは大きな改革であったと自負しています。本年度、前会長が全日本PTAから表彰されたのも、これらの活動が評価されたのことに嬉しく思います。

## 特色あるPTA活動

# 《回村》 学校・家庭・地域 ぐるみの奉仕活動

船引町立門沢小学校PTA

本校は、船引町の南に位置し、児童数七十名の小規模校です。平成三年、「同級の妹の純子さんに車イスを贈ろう」と始まったプルタブ回収運動。プルタブ百四十万個集めて車イスになるという気の遠くなるような話でした。口こみ等で地域の会社、病院、また町外・見知らぬ方からも次々とプルタブが届けられました。

それでも車イスには、まだまだ足りない十三万個でした。でも子ども達と担任教師の熱意を環公害防止連絡協議会の目にとめていただき、不足分は他の地域から集められた分でカバーし、淳子さんに車イスを贈って



(プルタブ回収運動による車イスの贈呈風景)

器ともなりそれを拾うことにより環境の美化の意義も誠に大きい収穫があったと思います。次に本校奉仕活動をご紹介します。

本校の校舎は老朽化しベランダの柵のさびがひどかったので、会員の中心から、「PTA自分達で塗装作業をしよう」と話が決まりました。

パイプのわく組みから始まり、さび取り、塗装作業とみるみるうちにすっかりきれいになり本職顔負けほどの作業をすることができ、自分達でできることは自分達でやればよいとでき上がりに満足したのです。

本校の奉仕作業は全員参加し協力するという事を自負するところです。現在の活動の反省として、教師に頼りすぎることもあるのでそれを直視し、その年毎の特色あるPTA活動を目指して参りたいと思います。その事が子ども達の活力あふれる健全な成長を図れるものと信じております。



# 《耶麻》 地域性を生かした親子先生とのふれあい活動

## 西会津町立新郷中学校PTA

本校は、北に秀峰飯豊山を仰ぎみ、南に阿賀川を有し、一方信仰で名高い三匹の「隠れ猿」の彫刻で知られる「鳥追観音」大山祇神社の西会津町の中心から北へ約十kmに位置し、四季の変化に富んだ美しい自然と緑豊かな環境に恵まれた山村にあります。

児童・生徒数八十三名、会員数四十八名、地域賛助会員約一六〇名の小規模校であり、小学校は、明治八年に創立し、中学



(親子ふれあい活動)

本校は、昭和二十六年に創立した木の温もりを感じ、木造二階建てであり、共に古い歴史のある学校です。PTAは、県下でも有数の小中学校連合であり、各役員が、全員役員となり、子供の健全な成長を図ると共に、相互の教養と親睦を深めることを目的とし、楽しい活動をめざして取り組んでいます。組織は、五つの専門部会と各学年委員会で構成され、その役割として「総務部会」は事業計画と予算の編成、各学年行事への協力など、「教養部会」は研修視察の実施、毎回参加者も多く、会員相互の親睦を深め、楽しい思い出の多い企画です。「施設厚生部会」は学校環境整備、美化に取り組み、会員の奉仕的な姿勢でほぼ全員の出席があり、中学生も作業に加わり、富士観現山（海拔五〇八m）登山を実施し、

山頂での大声大会・とん汁・かき氷・ところ天等が準備され、親子のコミュニケーションを図る。又もちつき大会では、祖母が招待され、児童自らもちをつき、三代で和やかに会食をするなど活発な行事が展開されている。「広報部会」の年三回発行の会報「新郷」は、学年行事やPTA活動などスナツの紹介も多く、内容が充実した新聞です。「補導部会」は健全な生活の実現をめざした活動に取り組み、常に危険箇所の点検、交通指導員隊、ヘルメットなど、「学年委員会」は親と一緒に活動し、グループ活動やスポーツを通して積極的な活動をしている。外に中学生は、勤労生産学習の一環として、そば栽培をし、十一月の収穫祭には、生徒自から粉を練り・打ち・ゆでる等、この地域ならではの体験をしている。

## 特色あるPTA活動

### 《いわき》

# 小規模校の特色を生かしたPTA活動

## いわき市立川部小学校PTA

本校は、いわき市の最南端に位置し、国道六号線より西へ約六km、近くを四時川の清流が流れ、鮫川と合流する所には白鳥が飛来し、環境的にも恵まれている所です。本校は歴史も古く今年度で創立百二十周年を迎えました。

本校の教育目標は、「健康で明るい子ども」「協力して働く子ども」「進んで学習する子ども」であり、この三本柱を中心に豊かな心思いやりの心をもった子どもを育てる所の教育を実践している所です。

PTAの組織は、成人教育、校外補導、施設設備、保健厚生、交通安全母の会の五つの専門委員会と、各学年による学年委員会、八つの部落からなる部落委員会構成されており、成人教育は、新聞「川部タイムス」を年三回発行すると共に、PTAの研修会を企画し各種講演講習会等に参加しております。校外補導は、危険箇所点検など子どもの安全確保の為の活動に努めております。施設設備は、夏休み中の奉仕作業



(子どもおみこし)

を主催し学校環境の充実に努力している所です。保健厚生は、プール清掃奉仕を主催したり、専門講師を招き健康に関する講演会を開催するなどの活動を展開しております。交通安全母の会は、お母さん達を中心に子ども達を事故から守る為の母親ならではの活発な活動を展開しております。そして、学年委員会は、各学年毎に行事を企画実施し、中でも本校の最大のイベントである収穫祭は、子ども達が行事や準備から収穫まで練り出すこの祭りは、子ども先生父兄が一体となったの本校ならではの行事と自負している所です。部落委員会は、各部落独自の行事を企画実施し、校外活動の中心となつて活動しております。この様に、本校は小規模校ならではの活動を展開しており、今後もPTA一丸となつて活動していきたいと思ひます。

PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十四回県PTA母親リーダーセミナー」が、今年度も県下四方面で実施され、多大な成果を上げ終了した。参加者会員の今後の単Pにおける活動を期待します。

### 《県北方部》 研修会で学んだこと

小島小PTA 佐藤 朋子

昨年九月二十七日福島県青少年会館に於て、母親リーダーセミナーが開催されました。今年度より、PTAの会議の司会を担当するようになり、「各種会議の司会・進行の方法」「対立意見の調整」「意志決定の会議での事前準備」等、自己の経験不足・勉強不足

を痛感していた時でしたので、議事演題の「PTAでの会議の持ち方」に強く魅かれ参加いたしました。

### 《県中・南方部》 研修の成果を今後の活動に生かしたい

須賀川三中PTA 竹内 邦子

母親であり、PTA役員という共通の立場のため、和やかな雰囲気の中で、活発な意見の交換が行われました。今回このセミナーに参加して、会議の持ち方を学べて有意義でした。さらに、テーマにそって問題や意見を交換することによって、漠然と考えていたことが、意見を述べ、他の意見を聞き、フィードバックして考え、助言を戴き、明確なものとなる過程をも経験させていただき、大変勉強になりました。感謝しております。

いたことが、意見を述べ、他の意見を聞き、フィードバックして考え、助言を戴き、明確なものとなる過程をも経験させていただき、大変勉強になりました。感謝しております。この研修会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

## 母親セミナーに参加して

### 《会津方部》

### 有意義な一日を体験して

謹教小PTA 秋山 理恵

初めて参加させて頂いた母親セミナー。

どういう内容のセミナーなのか解らぬまま、不安のうちにセミナーに臨みました。

しかし、初対面のお母様方との自己紹介で、すっかり打ち解け、また、PTAのあり方、父親、母親それぞれ

の役割り等内容の濃い抗議を竹田先生よりお聞きする事が出来ました。そして、今回の研修主題である会議の持ち方の方法を、実際に模擬討議し、バス・セッション(六・六式討議)について学びました。

今更で、PTAにおいて様々な会議・会合等に参加

参加された皆さんが、

昨年十月二十日須賀川文化センターで母親リ

しましたが、会議の方法についてはあまりよく分かりませんでした。話し合い学習の進め方について、詳しく学ぶ事が出来、本当に有意義なセミナーであったと思います。

また、ご一緒させて頂いた班の方々とも、交流を持つことが出来、私にとって実に貴重な一日でありました。

今回学んだ多くの事を今後のPTA活動において活かす事が出来ればと思っております。

有難うございました。

### 《浜方部》

### 新しい母親像を模索して

藤間中PTA 箱崎 恵子

こんな会初めて！楽しい！遠くの友達ができた！素敵な挨拶なさる方！私がかつて第七回セミナーに参加した時の印象です。今では十四回を数える母親リーダーセミナーも私共母親会員の質の向上と共に、その果たす役割は随分変化してきております。

今回の研修会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを少しでもこれからのPTA活動に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。

この講習会で学んだことを、今後の活動や生活に活かしていきたいと思っています。



(県中・南セミナー)

**習字 最優秀 作品**

**にじ**  
小じまなおこ (御厩小一年)

**ゆめ**  
ぐんじしのぶ (蓬萊小二年)

**用心**  
添田憲一 (五箇小三年)

**元気**  
坂本歩美 (永崎小四年)

**第17回**

**子どもの災害事故防止 習字コンクール 入賞者決まる**

第十七回子どもの災害事故防止習字・ポスターコンクールの審査は、二月七日と八日に福島県青少年会館で行われ、習字二八六点、ポスター四二点の入賞が決まった。今年も、習字一六七校から二八八三点、ポスターは八〇校から五三六点の応募があった。

習字は、蓬萊小学校教諭鈴木幸子氏、福島大学附属小学校講師桑原兵永氏、元野田小学校教諭小田雄氏が、ポスターは、元福島第四中学校長力丸毅氏が、一点一点慎重に審査した。各学年五年の学校代表作品のため、生き生きとした力強い作品が多かった。

**▼ポスター▲**

**【小学校の部】**

◆最優秀賞

- 山寺美 希(柏城小一年)
- 太田美穂(姥堂小二年)
- 若林絵美(川南小三年)
- 鈴木寛一(桜丘小四年)
- 大内智子(二本松北小五年)
- 八巻夏奈子(岡山小六年)

◆優秀賞

- 大河内友里恵(泉小一年)
- 和田信洋(西袋一小二年)
- 高木克哉(川南小三年)
- 大竹勝也(赤沢小四年)
- 安斎雅也(二本松南小五年)

◆優良賞

- 富岡明子(岡山小六年)
- 木戸正人(柏城小一年)
- 関澤拓也(千里小二年)
- 栗原宏美(御厩小三年)
- 八巻郁恵(岡山小四年)
- 荒和寛(桐福田小五年)
- 穴戸美保(岡山小六年)

◆佳作

- 相田雅則(一箕小一年)
- 大橋千恵(鏡石小一年)
- 水野智大(御厩小一年)
- 戸沢舞(関柴小二年)
- 藤沢良美(木幡小二年)
- 高田正幸(鳩原小二年)
- 高橋亮(一箕小三年)
- 鈴木瑠那(千里小三年)

**【中学校の部】**

◆最優秀賞

- 佐藤和佳子(白河二中一年)

◆優秀賞

- 大河原静江(平一中二年)

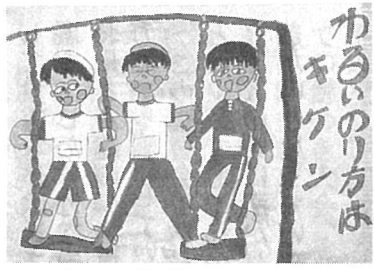
**ポスター最優秀作品**

◆優良賞  
谷川太一郎(若松二中二年)

◆佳作  
田口秀一(平一中二年)  
江尻暁子(平一中二年)  
澤田尚子(田人中三年)



若林絵美(川南小三年)



太田美穂(姥堂小二年)



山寺美希(柏城小一年)



# 安全

薄井宏美(五箇小五年)

# 健康

杉山 忍(福大附小六年)

# 発展

斎藤由枝(郡山三中一年)

# 躍進

若狭智子(須賀川一中二年)

# 躍進

武田亜弓(県北中三年)

## ▼習字▲

### 【小学校の部】

#### ◆最優秀賞

- 小じまなおこ(御厩小一年)
- ぐんじ しのが(蓬萊小二年)
- 添田憲一(五箇小三年)
- 坂本歩美(永崎小四年)
- 薄井宏美(五箇小五年)
- 杉山 忍(福大附小六年)

#### ◆優秀賞

- いとう かなこ(柳津小一年)
- 石川みどり(大浦小一年)
- むらかみあや(福大附小一年)
- 郷麻衣子(五箇小二年)
- 木村 文(大浦小二年)
- しけあやの(福大附小二年)
- 安彦達治(御厩小三年)
- 深田雅俊(福大附小三年)
- 平館祐佳(二本松北小三年)
- 北村さやか(白河二小三年)
- 蛭田真樹(小名浜二小三年)
- 佐々木淳子(柳津小四年)
- 大川原 佑(福大附小四年)
- 安倍隆夫(鏡石一小四年)
- 斎藤裕美(柏崎小四年)
- 小山琴也(謹教小四年)
- 小室智春(桑野小五年)
- 東久美子(柳津小五年)
- 山本純子(泉小五年)
- 飯村育美(赤井小五年)
- 野崎真実(小名浜東小五年)
- 小林育代(鏡石一小六年)
- 馬場美由紀(一箕小六年)
- 二瓶聡子(河東一小六年)
- 風間典子(永崎小六年)

### ◆優良賞

- 猪狩木綿子(大浦小六年)
- あかつか あき(青木小一年)
- わたなべみさと(河東一小一年)
- さくまゆきな(汐見が丘小一年)
- すずきしゅえい(永崎小一年)

### 【中学校の部】

#### ◆最優秀賞

- 斎藤由枝(郡山三中一年)
- 若狭智子(須賀川一中二年)
- 武田亜弓(県北中三年)

#### ◆優秀賞

- 大竹 香(矢吹中一年)
- 添田祥史(蓬萊中二年)
- 佐々木友子(福島二中三年)

#### ◆優良賞

- 菅野恵子(桃陵中一年)
- 鈴木庸介(若松三中二年)
- 室井新吉(若松三中三年)

### ◆佳作

- 一九〇点
- 佳作
- 実戸美咲(西信中一年)
- 宍戸千都子(福島二中一年)
- 加藤美佳子(桃陵中一年)
- 郡司知奈(郡山三中一年)
- 市川聖之(須賀川一中一年)
- 小原郁恵(若松三中一年)
- 片桐美樹(湯川中一年)
- 熊谷徳子(湯川中一年)
- 雨澤麻美(泉中一年)
- 鈴木富美子(泉中一年)
- 石川優里(二本松一中二年)
- 斎藤謙信(福島二中二年)
- 安藤幸夫(県北中二年)
- 市川泰之(須賀川一中二年)
- 芳賀弥生(矢吹中二年)
- 箱崎景子(藤間中二年)
- 和田育子(若松三中三年)
- 小松 愛(田人中三年)
- 高野かおり(岡東中三年)



鈴木寛一(桜丘小四年)



八巻夏奈子(岡山小六年)



大内智子(二本松北小五年)



佐藤和佳子(白河二中一年)



福島県PTA安全互助会地区別加入状況

(H. 6. 2. 1 現在)

Table with 7 columns: 区分, 小学校, 中学校, 合計, 単P数, 加入率. Rows list various districts like 福島, 達南, 伊達, etc.

( )は幼稚園数、○は養護学校(福島・相馬・いわき)・分校(東白川・いわき)

県PTA安全互助会だより

平成六年度より登下校中の傷害事故も補償対象に

平成六年度の福島県PTA安全互助会ご案内は、すでに一月末に各学校に配布いたしました。今回より、各学校へ直送することといたしましたが、各市町村教育委員

通事故多発の現況をふまえ、契約保険会社との話し合いにより、「登下校時の傷害事故」については、学校管理下ではあるが、特例として本会においても補償対象に加えるということになりました。

県小中学校新聞コンクール入賞校決定!

平成六年度 行事予定

県連P評議員会(総会) 六月三日

日P島根大会 八月十九日・二十日

東北P水沢大会 九月九日・十日

県P須賀川大会 十月十四日・十五日

新聞コンクール 十二月十五日

習字・ポスターコンクール 二月六日・七日

編集後記

福島民友新聞社・県PTA連合会が主催し、県教委・県小中学校長会・県中学校長会の後援である第二十九回県小中学校新聞コンクールが、十二月十六日行われた。この会はPTA会報・学校新聞などのレベルアップを目的に開かれているものである。

- 最優秀: こだま(保原小PTA)
学校新聞: 飛躍(河東三小)
優秀: 向山(松陽中)
入選: 須二中タイムス(須賀川二中)

国内政治の枠組みが大きく変わるなど課題の多い年でした。学校においても学校新学習指導要領の実施・業者テストの廃止、高校入試の見直し等課題の多い年でした。今年度も残すところわずかとなりました。四月には、子供達がそれぞれ希望を持って進めるようPTAとして積極的な援助をしたいものです。